



進路便り

令和2年度
第1号

<全学年版>

令和2年4月
土浦二高進路指導部

1 はじめに

今春の卒業生の入試結果は、国公立大学に122名が合格し、4年連続で100名以上合格というすばらしい結果となりました。特に、筑波大学医学類には2名が合格し、国立大学医学部に複数名合格という本校初の結果を残してくれました。また、県内の3国公立大学に81名が合格しましたが、これは在籍生徒の25%を占める割合になります。内訳は、茨城大学45名、筑波大学14名、県立医療大学22名です。次年度に新テストを控えて安全志向が強まる受験環境の中で、皆さんの先輩たちは最後まで諦めずに粘り強く受験に向き合いました。皆さんも日々努力していた先輩達を目標にしっかり頑張ってください。（詳細は別表参照）

さて、感染症の世界的拡大の中で、例年とは状況が異なる新年度となりました。自宅学習を余儀なく強いられる日々をどう過ごしていますか。学校が再開されて授業が始まった時、登校できなかった間の時間の過ごし方が問われてくるはず。自分を甘やかさないで規則正しい生活をし、学習課題にしっかり向き合った人こそ、学校再開後戸惑うことなく授業に参加できるはず。自分の目標の達成を目指して再度心を新たにしてください。

3年生は、実質わずか10か月で実力の一層の伸長を図らなければなりません。今年度は共通テスト元年度ですが、日々の学習の積み重ねがきちんとできていれば、必要以上に不安に思うことはありません。目の前の課題に真剣に取り組む、今の自分に何が足りないかを振り返りつつ、ぶれない学習を継続させてください。

2年生は、中心となっていく部活動や学校行事と勉学の両立という、限られた時間の中でのやり繰りが大変な学年です。長・短期の学習計画を立て、定期的に振り返りをして自分の学習の習熟度を把握してください。コースも文理に分かれ進路目標も明確にしていく時期ですが、苦手意識を持つ科目のケアが大きな鍵になりますから、5教科の成績バランスに留意しながら各自の進路希望実現のために、自分を甘やかさず努力してください。

1年生は、入学後すぐに自宅学習となり不安や戸惑いが大きかったことでしょうか。HPを通して連絡・指示されることも多く、慣れない状況に戸惑いもあるのではないのでしょうか。しかし、同じ状況に置かれているのは二高生だけではありません。全国・全世界に同様の高校一年生が大勢いるのです。皆さんは厳しい入試を乗り越えて土浦二高に合格しましたが、これは皆さんの最終目標ではありません。ここからまた次のステップに向けての挑戦が始まります。長い自宅学習で気持ちに緩みは出ていませんか？ 惰性で課題に向かっているませんか？ 「自分」が主体となって行動することが求められる高校生活です。まだ登校はできませんが、高校生活は既に始まっているのです。

2 進路指導室・進路資料室について

進路指導室は、管理棟と特別棟をつなぐ重層廊下の2階にあります。隣が進路資料室です。廊下には大学のパンフレット等が置いてあり、自由に取ることができます。

(1) 進路指導室のスタッフ

進路指導部長：塚原（国語担当）・副部長：菊地（数学担当）の2名が常駐しています。進路に関する相談があったら気軽に訪れてみてください。また、各学年の担当者を含めて11名の進路指導部のスタッフが、皆さんの進路実現を支援しています。

（1年：重永・海崎、2年：海老沼・日下・大田、3年：大図・宮崎・奥山・羽成）

(2) 進路資料室

・大学・短大・専門学校別に、各校から送付される学校案内・入試要項等が分類されて並んでいます。進路研究の時の参考にしてください。

・学校紹介のDVD／ビデオ・面接指導ビデオなどがストックされており、備え付けの機器で見たり、借りることも出来ます。その際には、進路指導室のスタッフに声をかけてください。

・インターネット利用可能なパソコンが8台設置されていて、進路情報の検索・大学のオープンキャンパス情報の検索等が可能です。また、「ひらく日本の大学」というソフトなどで、いろいろな大学を調べられますので、是非、利用してみてください。

・進路指導室・資料室の前の廊下には、自由に持って行ける資料が常時並んでいます。また大学からのオープンキャンパスの案内ポスターが掲示されています。

・有料コピー機が設置されています。1枚10円（A4判、B4判等）で誰でも利用できます。

・進路資料室の赤本（2013～2017）を整理しました。貸し出しは自由ですが、先輩から引き継いだ「学校の財産」です。各自、丁寧に扱って有効的に使えるようにしましょう。

3 学力向上のために

学力を向上させるための4つのポイントを挙げておきましょう。これを参考にして学習習慣を定着させ、学力向上につなげましょう。

①進路目標を決定しよう：目標が具体的にできれば、学習にも前向きになれる！

②予習→授業→復習のサイクルの徹底：予習の徹底で授業の理解度もUP！

③学習時間の確保：学年＋2時間を確保しよう！

④定期試験・模擬試験の活用：答案は苦手分野の客観的資料！
答案返却後のチェックを念入りに！